

# 吉田県議 衆院候補に

## 民主、4区で擁立へ



吉田芳朝氏

真議会の民主党・無所属の会に所属している吉田芳朝県議(41)は南18区、新座市が、次期衆院選の民主党公認候補予定者となる4区総支部長(朝霞市など)に就任する見通しであることが11日、分かった。4区暫定総支部長の

大島敦真連代表ら4区総支部と県連の選対小委員会での決定を経て、19日の県連常任幹事会で承認を受ける。県議は続ける意向の吉田氏は取材に対し「後援会にはまだ伝えていないが、国政への意志は固めた」と述べた。

衆院4区は上田清司知事の衆院議員時代の選挙区。上田氏の知事転身後、神風英男氏が民主党公認で3回当選(比例復活含む)したが、12、14年の衆院選で落選し、今年7月に政治活動から引退した。以後、4区総支部長は大島連代表が暫定的に務めている。吉田氏は上田知事と法大の先輩後輩でもあり、学生時代から選挙活動に携わってきた。証券会社員、新座市議を経て、県議4期目。吉田氏は「上田知事から(国政への挑戦を)勧められたが、ゼロからのつもりで地盤を築いていきたい」と話した。(砂生敏一)

# 衆院4区 民主 吉田県議擁立へ

## 上田知事意向が

民主党県連は、次期衆院選の埼玉4区(朝霞、志木、和光、新座市)に、民主党・無所属の会の吉田芳朝県議(41)(南18区=新座市)を公認候補として擁立する方針を固めた。今月中に開く常任幹事会で承認後、党本部に申請する。4区は上田知事が民主党衆院議員時代に地盤とした選挙区で、上田氏の意向が強く働いたとみられる。

吉田県議は証券会社員、新座市議を経て、2003年の県議選で初当選し、4期目。衆院選直前まで県議を続ける意向とみられる。

が民主党公認で出馬。03年から比例復活も含めて計3回当選したが、12、14年は自民党の豊田真由子氏に敗れて落選し、民主党県連は後継の選定を急いでいた。

吉田県議は読売新聞の取材に「今、後援会と話し合いをしている最中だ」と述べていることとされた。

4区では、上田氏の知事転身後、後継の神風英男氏

吉田県議は、今も4区で高い人気を誇る上田氏に近い。民主党内には、当選には上田氏の支援が欠かせないとの見方もある。

### 次期衆院選埼玉4区

## 民主・吉田県議が出馬意向

民主・無所属の会の吉田芳朝県議(41)は南18区・新座市は11日、次期衆院選で埼玉4区(朝霞市、志木市、和光市、新座市)から出馬する意向を明らかにした。「後援会で応援いただいたらなら正式に決断したい」としており、19日の民主党県連常任幹事会で承認されれば、公認候補として党本部へ申請する。

吉田県議は証券会社、新座市議を経て15年から4期連続で県議に当選。4区は政治的に近い上田清司知事が民主党時代に地盤を築いた場所。8月の知事選前に上田氏から出馬の打診があったという。また、神風氏からも出馬の打診があったとしている。

同区は自民党の豊田真由子氏(41)が平成24、26年の衆院選で連続当選。民主党

## 4区に吉田県議 民主が擁立方針

次期衆院選

次期衆院選の埼玉4区(朝霞市など)について、民主党県連が同党県議の吉田芳朝氏(41)に新座市区選出を擁立する方針である

ことがわかった。近く開く常任幹事会で、公認候補予定者となる4区総支部長への就任を決める。

4区は上田清司知事が同党衆院議員だったときの地盤。吉田氏は、上田知事からも直接打診があったことを認めたらうで、「もともとが上

田氏の地盤とはいえず、私自身がゼロから築いていかなければ」と意欲を示した。吉田氏は証券会社員、新座市議を経て、2003年に県議に初当選し、現在4期目。会派「民主党・無所属の会」所属。衆院解散までは県議を続けるという。

埼玉4区は神風英男氏が支部長となり、比例復活も含めて03年から3期務めたが、12、14年は自民党の豊田真由子氏に敗れて落選。今年6月に引退する意向を示していた。吉田氏が支部長に就任すれば、県内15選挙区のうち同党の「空白区」は残り六つとなる。

産経新聞

2015/12/12 朝日新聞

4区 衆院  
民主 吉田県議公認へ  
他選挙区の擁立も急ぐ

民主党県連は19日、さいたま市内で常任幹事会を開き、民主党・無所属の会の吉田芳朝県議(41)(南18区)を、次期衆院選の埼玉4区(朝霞、志木、和光、新座市)の公認候補として、正式に党本部に申請することを決定した。22日に行われる党本部の常任幹事会で承認後、第4区総支部長に就任する見通し。

吉田県議は証券会社社員、新座市議を経て、2003年の県議選で初当選し、現在4期目。4区は上田知事が民主党衆院議員時代に地盤とした選挙区で、吉田県議は常任幹事会後、記者団に対して「自民党に代わる健全な政治グループを作りたいという一心で決断した。しっかりと民主党の光をともしせるように、知事も連携したい」と語った。

民主党は、埼玉3区、9

区、13区、14区など、総支部長が決まっていらない県内選挙区が多く、候補者の選定を急いでいる。大島敦県連代表は「参院選の運動に向けても、候補者の擁立は大切」との認識を示した。

4区では03年以降、上田知事の後継にあたる神風英男氏が民主党公認で出馬していたが、12、14年は自民党の豊田真由子氏に敗れて落選した。

2015/12/20  
読売 →

吉田県議を擁立

次期衆院選で民主県連  
民主党県連は19日、さいたま市内で常任幹事会を開き、次期衆院選で埼玉4区(朝霞市、志木市、和光市、新座市)に吉田芳朝県議(41)―南18区・新座市―を擁立することを決めた。近く党本部に公認申請する。

吉田氏は「自民党に代わり得るような健全な政治グループを作りたいという一心で決断した。民主党の光がともせるよう、上田清司知事も連携しながら頑張っていきたい」と述べた。

↑ 2015/12/20  
産経

4区総支部長  
吉田氏を承認

民主党県連(大島敦代表)は19日、さいたま市内で常任幹事会を開き、吉田芳朝県議(41)―南18区、新座市―を次期衆院選の公認候補予定者となる第4区総支部長(朝霞市など)に就任させることを承認した。近く党本部に申請する。

2015/12/20 埼玉新聞

衆院選4区候補  
吉田県議公認へ

民主党県連は19日、常任幹事会を開き、次期衆院選の埼玉4区(朝霞・志木・和光・新座市)で、吉田芳朝県議(41)―南18区―を公認候補にすることを決めた。埼玉4区は、上田清司知事が衆院議員時代に地盤とした選挙区で、吉田県議は「自民党に代わりうる政治グループを作れるよう頑張りたい。そのためにも知事も連携させていきたい」と話した。

吉田県議は03年に初当選し、現在4期目。  
【木村敦彦】

2015/12/20 毎日新聞

吉田氏が第4区総支部長に就任したことで、県内15選挙区のうち総支部長が決まっていなかったのは残り6区となった。大島代表は「総支部長が決まることで、その選挙区の運動、活動が広がる。来年度夏の参院選にもいい影響が出る」と述べた。

(砂生敏一)